

【Ⅱコリント人への手紙 1章】

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちが慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。」(Ⅱコリント1:4)

私たちの神様は、なんとすばらしいお方でしょう。神様は、主イエス・キリストの父であり、あらゆる慈愛の源です。そして、私たちが苦しみや困難にあえいでいる時、すばらしい慰めと励ましを与えてくださるお方です。どうしてでしょう。それは、苦しみの中にあつて、同情と励ましを必要としている人々に、私たちも神様から受ける助けと慰めを与えることができるためです。私たちがキリスト様のために苦しめば苦しむほど、慰めと励ましが、もっと豊かにキリスト様から与えられるという事実、これは確かです。私たちが大きな苦しみに会うのも、あなたがたが神様の慰めと救いを受けるためです。現に、苦しんでいる私たちを、神様は慰めてくださいました。それはまた、あなたがたのためでもあるのです。すなわち、あなたがたが同じような苦しい境遇に立たされた時、神様の慰めが、どれほどやさしいものであるかを、私たちの体験から知るためです。神様は必ず、苦しみに耐え抜く力を与えて下さるのです。

愛する皆さん。私たちがアジヤでなめた苦しみについて、ぜひ知っていただきたいと思ひます。非常に激しい迫害を受け、打ちのめされて、もうこれ以上生き延びるのはむりかと思ひました。死を覚悟し、自分の無力さを痛いほど思い知らされました。しかし、それがよかったです。というのは、そんな状態で、何もかも神様にお任せしたからです。救い出すことができるのは、神様だけです。死人を復活させることさえ、できるお方なのですから。やはり、神様は私たちを助け、恐ろしい死の危険から救い出してくださいました。そしてこれからも、何度でも、救い出してください。違いありません。あなたがたもまた、祈りによって私達を助けてください。それは、私たちの安全を願う、その祈りに、神様がはっきりと答えて下さるのを見て、あなたがたが、もっともっと感謝と賛美をささげるようになるためです。(リビングバイブル)

神は、どのような苦しみの時にも、私たちが慰めてくださいますと書かれています。4～6節で、苦しみと慰めがいかに深い関わりがあるか、また慰めを受けることには目的があり、同じ苦しみにあつている人を慰めるためであることがわかります。パウロは数々の苦しみを受けていましたが、慰めもまたキリストによって溢れているから、コリントにいる人々を慰めることができたのです。6節には、もし私たちが苦しみに会うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためで、もし私たちが慰めを受けるなら、それもあなたがたの慰めのためで、その慰めは私たちが受けている苦難と同じ苦難に耐え抜く力をあなたがたに与えるのです。苦しみの中にある時に経験する慰めは、他の人を慰めることができる力となります。その慰めは神様から来ます。神の慰めと救いにあずかった人々はエルサレムからユダヤ、さらに地の果てにまで広がり、全世界をおおい、このようにして神様の人類救済計画は成就します。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.4.15 No.679

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>